

2024年11月17日（主日礼拝）

■招詞 ヨハネの手紙一 4:9 「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。」

■礼拝の祈り

天におられますわたしたちの父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今朝もこうして教会に集まり、礼拝をおささげすることができます。重い体をひきずり、怠けたい心に打ち勝って、あるいは他の何か善いことをしたいという気持ちすらいったんおしどとめて、ここに集まりました。けれども、わたしたちの信仰深さではなく、あなたの支え、導き、招きによってこうして集うことができたのです。礼拝堂ではなくそれぞれの場所で祈っている者もおります。どうか、すべてのあなたへの賛美と祈りをひとつに集めてこの礼拝を天の礼拝としてください。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

あなたに招かれているわたしたちですが、今御前に立って、自分自身が真実にあなたの恵みを映すものであるかと思う時に、顔を上げられない思いがいたします。相変わらず、自分の思いに生きようとするわたしたちであり、自分と、自分に近い者たちだけの幸せを願うことしかできないわたしたちです。御言葉を聞くのではなく、世における力を持っている人の言葉をありがたがり、自分の保身と利益を導く言葉を聞いていました。祈りをもってあなたの御心を求めるのではなく、自分の主張を声高に繰り返していました。このままでいて、御前に立つのにふさわしいのかと問わざるをえません。しかし、あなたから離れるこの罪は自分の思いから出ているにも関わらず、自分ではどうすることもできません。自分が反省したり、立派になろうとすることによって罪から清められることはないのです。あなたが、わたしたちを新しい者に作り変えてくださるしかないと信じます。造り主である神よ、あなたにしかおできにならないことです。このふさわしくない私を、あなたの恵みの力によって、新しく造りかえ、あなたにふさわしい者としてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

そのために、今日のこの礼拝においても御言葉をお聞かせ下さい。あなたが語ってくださる御言葉によって、わたしたちの罪を赦し、新しい者につくりかえ、あなたとの交わりにふさわしいものにしてください。このキリストの赦しの出来事をここで起こしてください。そして、この心を救い主である主を賛美する心で満たしてください。今日は特別に川嶋牧師を説教者として迎えることができました。聞く者がみな、福音を聞くことができますよう、説教者を強め、またわたしたちの耳と心を開いてください。この礼拝において、御言葉によって、救いをはっきりと示してください。

主イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

2024年11月17日（主日礼拝）

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<伝道礼拝感謝>

わたしたちの信仰を伝えたいと願って、特別に川嶋牧師を説教者として招いたこの礼拝の祝福を感謝いたします。説教者を通して御言葉が語られました。キリストの希望によってここからまた新しく希望を確かに歩みはじめることができます。これからもわたしたちにはっきりと希望を示してください。

<謝恩日を覚えて>

隠退した牧師たちのことを覚えて次週を謝恩日としています。どうか、教会にその身をささげ、務めをおえた牧師たちをかえりみてくださいますように。その労をねぎらい、生活をお守りください。わたしたちにできることは小さいことかもしれませんが、祈りあいながら、ともに歩むことができる幸いを感謝いたします。

<コンサート感謝。今後の行事をお守りください>

昨日は、チャリティコンサートを行うことができました。フィリピンの子供たちのささえのために、教会、演奏者、参加者がそれぞれの賜物をわかちあいました。わかちあうことができることもまた恵みです。感謝いたします。奉仕者の業をかえりみてください。

<世において重荷を負っている者を助けてください>

心や体の病により痛みや困難を覚えている者、重荷を負っている者を助けてください。わたしたちの心や体は弱いのです。あなたの支えなしには一歩も歩むことはできません。病気の治療は与えられています。しかし、病んでいるところから本当に癒やしてくださるのはあなたの御言葉だけです。主イエスがともに歩んでくださっている、そのことを支えとする信仰をお与えください。

そして、家族、友人の重荷をともに背負っている者がおります。あなたが、仕えるようにと命じられたのでそうしているのです。どうか、この者たちを顧みてください。このような者にこそ主がともにいてくださる。重荷を負ってくださると信じます。

<祈りに生きることの幸い>

新しい一週間を歩み始めます。日々の生活の中でも祈ることができますように、いえ祈りの中に生活をおいてください。あなたはすべてご存知の上で、祈るようにとわたしたちを招き、祈りを喜んでくださいます。この祈りの喜びの中を歩ませてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。